

液化石油ガス容器バルブ設計・製造基準 KHKS 0126 (2018)の見直しについて

1. 趣旨

KHKS 0126 は、国際規格である ISO 15995, Gas cylinders – Specifications and testing of LPG cylinder valves – Manually operated を基本として、液化石油ガス容器に装置されるバルブの設計の妥当性を確認するための各種試験を定めた基準である。バルブ製造者に求められる品質管理体制並びにバルブの設計、製造及び試験を示した「液化石油ガス容器用弁品質管理指針」(KHK E 010(1979 制定-1984 改正))の一部を取り込み、平成 16 年に制定された。本基準は前回の改正(2018 年)から 5 年が経過したため、定期的な見直しを行うものである。

2. 前回改正の主な内容

- (1) 誤字等の修正、表現の見直し
- (2) 引用規格の最新版の適用

3. 改正要望

本基準の見直しにあたって、関係団体に改正要望の調査を行ったところ、資料 25-4-2 のとおり日本高圧ガス容器バルブ工業会より引用規格の最新版の適用に関する改正要望があった。

4. 見直しの方針(案)

今回の見直しについては、以下の改正を「軽微な変更に伴う改正(書面投票及びパブコメ等は不要。)」として行うこととしたい。

- (1) 引用規格の最新版の適用(改正要望への対応を含む。)
- (2) 基準の作成方法等を定めた日本産業規格(JIS Z 8301:2019)に準拠
- (3) 表現の見直し等